

事務局長就任の御挨拶

日本水景協会事務局長
高田 芳昭



酷暑の候、皆様にはますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。

昨年、水道機工(株)を定年退職しました高田芳昭です。

突然、宮川総務委員長よりこの2月に呼び出しがかかり、当協会の対外的折衝や事務的なお手伝いの協力要請を受けました。そして、日本水景協会の理事会で承認となったとの事で、この4月より1か年間、事務局長という仰々しい職務名の辞令を受けることになりました。役割名は厳しく、さも偉そうで名前負けしそうです。しかし、この大変な時期の各社からの貴重な会費を少しでも有効利用できるよう、微力ながら誠心誠意、全力を尽くす決意です。よろしくお願いいたします。

私の専門は水処理技術の研究開発、ソフトエンジニアリングから新規事業開発(各種工場排水、集排、水環境、PFIなどの新しい事業分野としての開発)です。よって、噴水は水辺環境の一部としての知識程度しかありませんが角度を変えた観点からのアドバイスも出来るのではないかと考えております。

先日国交省河川局の外郭団体の(財)リバーフロント整備センターの月刊誌である“FRONT”水の情報誌

から取材を申し込まれました。テーマは「都市空間における噴水の役割」で、科学的データをとの依頼でした。これでは噴水メーカーの方が適任と思ったのですが、皆さんご多忙との事なので取材に立ち会いました。しかし、水辺環境の役割的な話に風呂敷を広げてしまい、汐留街区の路面への下水処理水の散布、墨田区東向島や大阪府御堂筋の打ち水でのヒートアイランド現象の緩和としての路面温度、気温低下の数値を述べたり水環境税の重要性を話したりしてしまいました。取材者はそれで納得して帰りましたが会社で叱られているかもしれません。このようにチョッピリ話題がずれてしまうこともままあるかもしれませんがご容赦下さい。

私は毎週火曜日にウォーターデザインさんの分室(喫茶店の2階の倉庫?)に望月顧問とおります。その他の日は妻の看病と主夫をしておりますが、時々棒振りや夜の街の探検をしておりますので、何かご相談事やご意見がありましたら下記にご連絡下さい。不良の相手も大歓迎です。

e-mail info@jala.gr.jp

e-mail bz103027@bz01.plala.or.jp

連載 その1

Construction Management

荏原実業株式会社

宮川 幸雄

(日本水景協会総務委員長)



Construction Management (CM)とは、1960年代にアメリカで確立した、建設工事の契約方式のひとつで、建設工事の計画・設計・発注・工程管理・品質管理・コスト管理を、Construction Manager (CMr)が発注者の代行者として統括し、発注コストの透明性と経済的な工事を実現する事を目的としたものです。

日本では、民間工事においては採用例が増えてきています。また公共事業では国土交通省が平成14年に、地方公共団体の「CM方式活用マニュアル試案」をまとめ導入に取り組み始めました。

この方式は、専門工事業者が直接発注者と契約する

ことができるため、水景施設工事には最も歓迎すべき契約方式といえます。

現在、日本水景協会メンバーは大半が、下請け、あるいは孫請けでありながら、エンドユーザーへの対応、並びにシステムギャランティーは元請け並みの扱い、契約金額は工事業者的な扱いを強いられている事と思われます。

そこで今後、日本水景協会の取り組みとして、CM方式の発注形態促進が現状打開の一方策かと考え、今後継続的に詳解したいと思います。